



新米パパ・ママに向けた、カンガルームプラスの保育スタッフによる体験型の育児トレーニング。



プログラム		受講方法
1	育休制度を知って、ファミリーキャリアについて考えよう！ ※育休制度は会社によって異なるため、それぞれの育休制度をご確認ください	育休制度以外の内容について、 資料のみご提供
2	妊娠期・出産前後の体と心の変化を知ろう！	オンライン・リアル オススメ！
3	赤ちゃんのお世話をしてみよう！	オンライン・リアル
4	赤ちゃんがかかりやすい病気とケアについて知ろう！	アーカイブ視聴・オンライン・リアル
5	共働きの生活に向けて準備しよう！	オンライン・リアル

1プログラム：45分

予約可能時間：月～金 8:30～18:00

ご希望のお時間にて受講していただくことができます。

受講したいコンテンツを組み合わせるなどのカスタマイズも対応可能ですので、ご相談ください！

例)「赤ちゃんのお世話の「ミルク作り」のみ+かかりやすい病気の組み合わせで45分で受講したい

「何が不安かわからない」「どれを受けたらいいのか」「内容はどんなものがあるの？」など事前に質問したい

自分が知りたい内容を
効率良く受講できる！

現役保育士・看護師
によるレクチャーで
分かりやすい！

平日都合の良い時間に
受講できる！



■プログラム2～5 予約フォーム

<https://forms.office.com/r/eCqme1uWz5>

■お問合せ

カンガルーム
プラス
公式LINE



KODOMOLOGYイクトレとは？

“Parenting Training” is ...



こどもを真ん中にして
パパとママの
ファミリーキャリアを支援
At the Center are Children.
Supporting Moms and Dads Build their
“Family Careers”



- ✓ **早くからパパが育児に主体的に取り組むことで、ファミリー全体での育児スキルがアップし、ファミリーキャリアの可能性が広がります！** *ファミリーキャリア＝パパママ両方の、長期的な、家族というチームとしてのキャリア
- ✓ Dads taking early and proactive role in childcare contributes to increase in childcare capability as a family, and lead to expansion of “Family Career” possibilities!
- ✓ **カンガルーム汐留の現役保育スタッフ（保育士・看護師）による、“体験型”トレーニングで、パパがが主体的に受けることで、育児に対して当事者意識を持てるようになります！**
- ✓ Active participation in “Parenting Training” by Kangaroom Shiodome Childcare Staff (licensed Child-Caretakers and Nurses) will encourage dads to take proactive role in childcaring!

「KODOMOLOGYイクトレ」への賛同メッセージ



治部れんげさん
ジャーナリスト／

東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授

育児や家事など「無償ケア労働」が女性に偏っていることは、世界共通のジェンダー課題であり、G20大阪サミット（2019年）の首脳宣言でも言及されています。特に日本では他の先進諸国と比べて、女性の育児負担が大きいことが問題です。

こうした中、企業が男性の育児参加を促すことは非常に意義深いことです。

「KODOMOLOGYイクトレ」を通じて、より多くのパパが主体的に育児参加し、日本のジェンダー平等に大きなインパクトをもたらすことを期待します。

「KODOMOLOGYイクトレ」への賛同メッセージ



宮里暁美さん
お茶の水女子大学
お茶大アカデミック・プロダクション特任教授

喜びも苦労も半分半分！
だから「KODOMOLOGYイクトレ」
誰もがかって子どもだった。そして出会いがあり親になった。
命はそんな風にしてつながっていく。でも親になるのは楽
じゃない。みんな初心者マークだから。
そんな悩み深い子育ての救世主はパパ。健やかな子ども
の成長にとってパパの育児参加は欠かせない。
子どもは自ら育とうとする存在。頑固だがむしゃらな子ど
もたちの育ちを支えるために大事なのが「親たちの度量」。
大らかさと細やかさ、優しさと厳しさ。支え合い認め合う
在り方。何より大事なパートナーシップ。
「KODOMOLOGYイクトレ」の中で見つけてほしいのは、
楽しみながら支え合い育ち合うための始めの一歩なので
す。